

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 尾本久男SAA委員長 ◆四つのテスト 古里安幸会員 ◆ご来訪ロータリアン 第2740地区 上村春甫ガバナー
第2740地区第9グループ 辻村栄蔵ガバナー補佐 第2740地区 山下雄司幹事 第2740地区 大坪恵介副会計長

◆会長挨拶 柳龍一郎会長



みなさん、こんにちは。本日は、第2740地区上村春甫ガバナー、第9グループ辻村栄蔵ガバナー補佐、山下雄司地区幹事、大坪恵介地区副会計長をお迎えしてのガバナー公式訪問例会です。どうぞよろしくお願いいたします。台風接近の為、9月に予定しておりました訪問例会を延期させて頂きましたが、今日が55回目最後の訪問例会との事です。スケジュールの再調整も、各クラブの例会開催日がある為大変ご苦労され、移動総距離はなんと6千キロとお話しでした。大変恐縮です。ガバナーはサッカーJ1・サガン鳥栖のチームドクターであり、大相撲の照ノ富士とも深い親交をお持ちだそうです。循環器のドクターであり、多くのアスリートをフィジカル面から診ていらっしゃいました。また、救急病院運営という忙しい環境の中、佐賀ロータリークラブにおいて28年皆勤を達成されているとの事です。「先輩からの例会出席の教を素直に実行していたらこうなりました」とおらかなお人柄の中に、熱い情熱を感じました。去る8日は、インターアクト前期指導者研修がZOOMにて開催されました。21の提唱ロータリークラブの担当者と学校関係者により約1時間、現状報告会のスタイルで研修が行われました。際立っていたのが、ガバナーお膝元佐賀ロータリークラブが提唱されている佐賀清和高等学校でした。ここだけが生徒さん自身でZOOMを駆使して、紹介動画等の発表をされました。発表早々ソフトの設定変更を画面の向こうから依頼されてきて、今の高校生はWEB会議もできるのかとちょっと驚きました。内容も見ごたえのあるもので、活動のエネルギーも確かに伝わるものだったと思います。カメラの横で先生が小さな声でアドバイスを出されているのも垣間見えて、指導者も含めて一つの事に進んで行く力強さを感じました。一朝一夕でできるものではないと思います。さて本日はこのあと上村ガバナーより基調講演をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◆幹事報告 山田孝二幹事

■報告事項 ①会員拡大進捗状況報告
②職場訪問例会進捗状況報告 11/22 職場訪問例会
長崎文化放送 11時ロビー集合12時～例会(アストピア)
③地区大会参加についての進捗状況報告
佐賀市文化会館 12時半点鐘 マイクロバスレンタカー
集合場所 市民会館横 集合時間 未定

◆米山奨学金支給並びに近況報告

グエン・ティ・ホン・トゥさん(ベトナム)



10/13伊万里西RCへの出前卓話

お世話になっております。今日は7回目奨学金をいただき、どうもありがとうございます！私は先週、10月3日に大村東クラブに出前卓話に行きました。発表の内容は、私と日本の思った事と、米山記念奨学生を通してという話をしました。だいたい良かったです。次回は、佐賀県の伊万里クラブで出前卓話に行きます。忙しいですが、頑張ります。

◆ニコニコ箱

■第2740地区 上村春甫ガバナー
長崎西ロータリークラブ様、一年間よろしくお願いいたします。
■柳龍一郎さん 上村ガバナー、辻村ガバナー補佐、山下地区幹事、大坪地区副会計長、ようこそお出でいただきました。よろしくお願いいたします。
■島田靖彦さん 上村地区ガバナーのご来訪を祝して。ご指導よろしくお願いいたします。
■江上徹也さん 上村ガバナーご一行を歓迎して。
■嶽本幸次さん ガバナー訪問を祝して。

◆期首会員数	35名	◆入会者	1名	◆退会者	0名	◆現在	36名
◆10/11例会出席	20名	◆免除者出席	7名	◆欠席	16名	◆出席率	62.50%

RI第2740地区 上村春甫ガバナー公式訪問例会



基調講演 2022-2023年度地区テーマ「想像」して「創造」しよう・・・ロータリーで未来を！

地区活動及びクラブサポートの重点項目

1. 「女性会員の増強と女性会員の積極性と帰属意識が醸成されるような環境の整備」
2. 「青少年活動の活性化」
3. 「リーダーシップ開発活動の強化」

重点項目への活動目標「RI会長テーマの理解と促進のサポート」
継続的な重要課題への取組み

1. 「会員の増強」
2. 「各種寄付の拡充推進サポート・アドバイス」
3. 「RLIの活性化」
4. 「ロータリー奉仕デーへの積極的参加」
5. 「My Rotaryアカウント登録の増強」
6. 「クラブ活動計画策定及びクラブ目標設定のサポート・アドバイス」



◆唐人屋敷の堀跡の川、溝に架かる「森伊橋」

許斐義彦

明治時代の長崎の豪商森伊三次という人物が唐人屋敷が廃された後の大部分の土地を購入して整備した。唐人屋敷は出入口は広馬場の門しかなかったので、森伊三次は館内と十人町を結ぶ「森橋」、館内と中新町を結ぶ「栄橋」、「森伊橋」を造った。参考までに森伊三次は、浦上川の埋め立てに尽力して、広大な土地を拓き、自らの名前から、里が茂る(栄える)ようにという意味を込め「茂里町」が誕生した。
(ヒロスケ長崎のぼりくんだり)より抜粋



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	10/11	16,000円	累計	258,538円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	10/11	11,000円	累計	80,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	10/11	19,000円	累計	71,000円

◆会長 柳 龍一郎 幹事 山田孝二 ◆創立：昭和 59 年 10 月 2 日 ◆事務局住所：長崎市東古川町 4 - 16 フジビル 202
◆事務局連絡先：Tel:095-828-1091 Fax:095-824-5520 ◆e-mail:nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp
◆例会：【火】12時30分～13時30分 ◆例会場：ホテルニュー長崎 Tel:095-826-8000
◆作成：公共イメージプロジェクト委員会/クラブ会報委員会 ◆委員長：山崎雅之 ◆編集：事務局 中田久美子